

くつろぎサロンはがん患者と家族のための会です

くつろぎサロン通信

2017年7月12日 第15号
発行 十和田市立中央病院内
がん患者と家族の会事務局



2017年4月12日に、H29年度くつろぎサロン総会が開催され、下記のように役員改選、活動内容が決まりました。例年以上に勉強会や親睦会、情報交換等々計画されお互いが学び合い、前向きに療養生活を送っていただけたらとおもっています。

《H29年度 くつろぎサロン活動予定》

	サロン定例会 第2水曜日13:00-15:00	その他	ひまわり部会 第3木曜日13:00~15:00
4月	4/12 総会	ピンクリボン運動参加	4/20 おしゃべり&ヨガ ※ケア帽子作りは適宜行う
5月	5/10 思いを語ろう	①県患者団体等連絡会議	5/18
6月	6/14 医学講演会（講師：放射線技師）		6/15
7月	7/12 野菜パワーで健康に！	サロン通信発行	7/20
8月	休み		8/17
9月	9/13 課外活動(未定)		9/21
10月	①病院まつりでのPR活動 お箏演奏会 ②県フォーラム参加予定	県患者団体等連絡会議	10/19
11月	11/8 体験教室（坂下工房）		11/16
12月	12/13 クリスマス会(箏・謡吟・ハーモニカ)	12/15 院長講演(乳がん) (保健センター)	12/21
1月	1/10 未定		1/18 ヨガは冬季休止
2月	2/14 近況報告 OR 行事調整		2/15
			3/15

くつろぎサロン活動紹介 (H28年度)

素敵な笑顔の集まるひととき



11月 絶品！手打ちそば体験(坂下工房)



12月 クリスマス会・十和田ハーモニーズの演奏

～患者会への思い～

副会長 田 嶋

生と死を見つめながらの毎日の生活から、早や9年目を迎えることが出来、少し落ち着いた生活に戻りつつあります。

これは、先生方、看護師さん、がん相談支援センターの相談員さんに助けていただいたおかげです。心から感謝しております。いつもありがとうございます。

くつろぎサロンの方々とも仲良くなり、少し距離が近くなってきた中で、もう少し、私の思っている事や情報などをがんと向き合っている皆さんに役立てられればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

《役員》

会 長 中野渡 昭 子
副会長 坂 下 優・田 嶋 敏 子
会 計 谷 村 和 子・坂 田 美代子
監 査 中 市 春 美・小山田 頼 子
事務局 新 谷 明 子・宮 真奈美
N さ ん

仲間がふえました！

【I さん】

会員と職員の方々が、皆様とてもあたたかく、会も開放的で励まされています。これからも宜しくお願い致します



如月の寒さも癒す 箏演奏会 ♪♪♪



4/23 ピンクリボン運動に参加！

～「とわだをピンクに染める会」とともに官庁街で活動しました～

ピンクリボン運動とは・・・

乳がんについての正しい知識を多くの人に知って頂き、乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守ろうと、1980年代のアメリカで発祥した啓発運動です。



～ピンクリボンキャンペーンに
寄せて！～

少しでも不安と疑問を感じたら
少しでも早く正確な検査をし、
安心or治療をしましょう。
(白黒つける意)
一歩踏み出す少しの勇気が
大切に思えます。

【N】



～ピンクリボン活動の感想～

以前からピンクリボン活動に興味がありましたが一人では何も出来ないのではないかと考えていました。そんな中、桜流鏝馬の皆様とのコラボで参加する機会に恵まれて良かったです。会のメンバーと手探り状態でスタートしましたが、声をかけたご家族がリボンをご自分で胸に付けてくれた時はとても嬉しく感じました。又、セルフチェック見本に興味を示して熱心に見たり探ってくれている様子を目にした時は本当に開催して良かったと思えた瞬間でした。今後はもっと乳がんの事を正しく知り、自分の為、家族の為、身近な大切な人の為にしっかりと向き合いこの活動を推進していきたいです。

【T】



『乳がん検診受けてます？』
『ピンクリボンの日知ってます？』

春まつりの《とわだをピンクにそめる会》で早期発見・治療の大事さのパンフレットを持って呼びかけました。
「検診受けたことない」「忘れてた！」
「ピンクリボンって何だ？」の返事が多く、
テレビ・新聞と毎日のようにマスコミに取り上げられているのにと・・・。
女性自身・子供・パートナー・家族のためにも、まだまだ啓発運動が必要だと痛感させられた1日でした。

【T】

6月 医学講演会 “最新の放射線治療”

14日の定例会では当院放射線科医学物理士・小川氏を迎え「放射線治療について」お話を伺いました。

「最新の医療情報を得る時、最近ではインターネットの利用により手軽かつスピーディーに数多くの情報を入手できるが、問題も多い。『本当に自分に必要なものが何か』見極めこそが大事である」と実際に検索しながら説明いただきました。

また、治療、検査における不安や混乱のある患者さんにこそ、「傾聴」を大切に対応したいと話され、真摯な姿勢に感銘を受けました。後半は、須藤技師長も加わって参加者からの疑問に丁寧に回答していただき、一同安心し、よく理解することができました。

～有意義な講演をありがとうございました～



編集後記

当サロンは、今年で発足11年目を迎えます。当初『がんという病気を抱えた患者・家族として語り合いたい』との思いから沢山の方々の協力を得て中央病院の医療情報センター内を「しゃべり場」として活動を始めました。メンバーも少しずつ変わってきましたが、求め合う気持ちや共感し合う気持ちは変わらないと思います。病気と共存する意味も、情報交換と学習で得られることを互いに知ってきました。今後も前向きに進みましょう！！

文責：事務局 新谷 明子

【お問い合わせ先】

十和田市立中央病院（地域医療連携室内）
がん相談支援センター
平野 田中
Tel. 0176-23-5121 内線2066